

令和4年度 事業報告書

1 岩田こどもの園 の運営

- (1) 定員 2・3号 103名 (2号…34名 ・ 3号…26名)
1号 43名 (満3歳児 10名 ・ 少・中・長…各 11名)

(2) 年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児	1	3	3	4	5	6	6	6	6	6	6	6	58
1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	189
2歳児	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	237
3歳児	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	285
4歳児	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	167
5歳児	17	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	224
計	89	93	95	97	98	99	99	99	99	98	98	96	1160

- (3) 職員数 令和4年度 26名(理事長含)

(4) 職員の異動

- ① 採用 1名
- ② 異動 2名(ずだじこども園より)
- ③ 退職 4名(年度途中退職者含む)

(5) 職員会議の開催状況

・職員会議(担当会)は隔週で行い、日常の保育の様子や気づき、行事の方向性、事務連絡等を話し合うと共に職員分担表により役割を持つ担当職員より伝達、報告を行った。

園内研修にも重点を置き、事故防止会議・感染予防・IT研修・自己啓発などと多岐にわたり、現場で活かせる研修を行っていった。

・月1回の給食会議では偏食指導・アレルギー児に対する除去食について、内容検討、行事食について話し合った。

・リーダー会、クラス会を設け、さらに具体的に話し合う時間を設定し、クラス間の調整に努め常に課題を持ちながら進め、全体で全園児を観る意識を高めていった。

・ヒヤリハットを日案に取り入れ毎日振り返りが出来るようにした。また、会議等で活用し園全体で危機管理意識を高めるように努めた。

2 保育の実施状況

(1) ≪教育目標≫ 明るく たくましく 賢い子 の育成

- 明るい子(徳育) 挨拶のできる子、コミュニケーション能力のある子
人と人との付き合い、関わりの第一歩 心を伝える
「おはようございます」が言える子にしたい
相手も自分も、気持ち良くなる、挨拶ができる子は
必ず素敵な笑顔が出てきます
- たくましい子(体育) 心も身体もたくましい子
失敗にも負けず、もう一度挑戦する子にしたい
泥んこになる事に抵抗無く、エネルギーを爆発させて遊べる子は
何に対してもチャレンジする心が育ちます
- 賢い子(知育) なんてだろう? どうしてかな? と考えることができる子
一つの遊びを集中して行い、最後まで遊びきる子は満足して
次のステップに進むことができます
- 感性豊かな子(美徳) 自然と人との関わりの中で育つ「心」
与えられ、限られた環境の中では作られた感性しか育ちません
原石のような子ども達にこそ、本物の中で感じる心を育てて欲しい

≪未満児保育目標≫

- ・五感を養う(見る・触れる・嗅ぐ・聴く・食べる)
- ・人の話を聴こうとする

◎ 理想とする子どもの姿

- 外界(物・自然)に興味を持つ子(見たい・触れたい・やってみたい)
- 指さしや言葉を通して気持ちを表す子(教えたい・伝えたい)
- 人への興味・関心を持ち自我を発揮する子(自分でしたい)

- 明るい子 元気よく園に来ることが出来る子
- たくましい子 自分から遊びを見つけ楽しく遊べる子
- 賢い子 自分の事は自分でやろうという気持ちを持つ子
- 感性豊かな子 自分の気持ちが表現できる子

≪教育方針≫ 顔の数だけ 個性がある

汗をかきながら、園庭を力いっぱい走り回る子がいます。
太陽の下で瞳を輝かせ、元気よくお話をしている子がいます。
地面のアリを見つけ、その行列を真剣に追いかける子がいます。
園にはいろいろな子どもがいます。
そんな素晴らしい可能性を秘めている子ども達の二度とない幼児期に、
より多くの体験を通してたくさんのお話を体得して欲しいと思います。

○保護者会

個人懇談会(希望者)

クラス懇談会(3月)

クラス参観会(7月 1月 3月)

○地域とのかかわり

- ・自治会長さんとの面会
- ・社会福祉協議会の方との面会
- ・地域のお年寄りの方と交流センターでのふれあい活動
- ・園便り・子育て支援情報掲示
- ・近隣の農家さんとの交流(畑仕事体験・農作物の食体験)

3 給食の実施状況

季節の食材を取り入れた手作りで和洋中のメニューを偏りなく取り入れていった。また、噛む力を育てるため、硬さ・軟らかさや食材の切り方に工夫した。月1回行われる給食会議では現状を考慮した上で、食材の幅を広げ様々な味覚を経験させていく案を出し合った。又季節感やお楽しみも大切にしたり、行事食も嗜好を凝らして取り入れた。アレルギー体質の子どもは生活管理指導票を提出して頂き、特に家庭との連絡を密にし、その子どもにあった食材の使用を行った。又、食育の観点から、食育デー等の活動や年長児によるメニューの放送等も取り入れていった。

(1) 0歳児

初めての食材は家庭で口にしたものを取り入れるなどし、その子の月齢や離乳食の進み具合には注意を払った。喫食状況を連絡帳や口頭で知らせ、家庭と園とで連携をとりながら食材の幅を広げ対応していった。

(2) 1～2歳児

完全給食に加え、9時と15時のおやつを実施した。自発的に食べる喜び(楽しく食べる)を柱に考えた。

(3) 3歳児以上

主食、副食と15時のおやつを実施。

(4) 15時のおやつ

給食とのバランスを考えた上で、手作りおやつを中心に提供していった。誕生会の日にはスペシャルメニューを計画し、特別感を出していった。

(5) 延長保育の間食を実施した。

4 健康管理の実施状況

(園児)

① 小児科

年2回(5月、10月)園嘱託医による健康診断を実施した。

② 歯科

年1回(6月)園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。

※当日欠席の園児は後日受診し、全員実施した。

(職員)

① 定期健康診断

年1回、一般財団法人 東海検診センターによる健康診断を全職員に実施した。

検査実施日現在35歳、40歳以上の職員に血液検査を実施した。

② 検便

月2回 厨房職員、月1回 乳児担当職員は『赤痢・サルモネラ菌』

『病原性大腸菌(O-157)』の検査を専門業者マルマに依頼して実施した。

5 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練において

- ・月1回、いろいろな状況を想定して、避難、通報訓練を行った。
- ・通報訓練は豊田分遣所職員を招いての通報の仕方、避難の仕方および水消火器の使用方法を指導して頂いた。
- ・消火訓練は水消火器をレンタルし全職員が体験した。パッケージ型消火器の使用の仕方、消火器の設置場所を全員で把握していった。
- ・起震車を配置して頂き、園児、職員、保護者、地域の方が体験を行った

(2) 救急において

- ・豊田分遣所の職員の方を招き AED の使用方法、救急救命の講習会を行った。

(3) 交通安全において

- ・6月、交通指導員を派遣してもらい、以上児が交通ルールを正しく学んでいった。散歩に出かける時等学んだ事を実践した。2月には、就学を考えた交通教室を行った。(年長)

6 地域との交流事業

- ・散歩に出かけ、積極的に子どもたちと会話や、挨拶を重ねていった。
- ・岩田地区社会福祉協議会事業とし5月、10月にお年寄りとの交流会実施。
- ・近隣の老人施設の年配の方と交流を持った。

7 研修 一部抜粋

(1) 職員の外部 研修会 年 月 日	場 所	研修名
R4, 4/16(土)	グランシップ	第1回初任者研修
R4, 6/7(火)	YouTube	第1回幼児支援研修
R4, 7/26(火)	グランシップ	乳幼児教育研修会
R4, 7/27(水)	グランシップ	主任教員研修会
R4, 7/27(水) ~8/2(火)	グランシップ	ミドルリーダー研修会
R4, 8/1(月)	グランシップ	乳幼児教育研修会
R4, 8/8(月)	グランシップ	特別支援教育研究会
R4, 8/9(火)	YouTube	教育研究講座(4~7年目)
R4, 8/9(火)	グランシップ	3年目教員研修会
R4, 8/10(水)	YouTube	教育研究講座(8年目~)
R5, 2/27(金)	Zoom	人権について

(2) 園内研修の実施状況

- ・AED研修
 - ・嘔吐物処理研修
 - ・防災研修
 - ・防犯研修
 - ・発達研修
 - ・その他(職員持ち回りで、研修内容を考え、準備をする)
-
- ・職員会議内で、研修に参加した各職員の研修報告を元に疑問点や質問、保育に関する情報などを取り入れた。
 - ・現場の担当者が集まり、意見交換することで指導計画等を見直し子どもへの関わり、保護者への対応の仕方を研究しながら保育の向上を目指した。
 - ・実践を重視し、正規職員の公開保育を行い、互いのスキルを高め合った。

8 一日保育体験学習の受け入れ状況

- ・受け入れあり

9 実施した設備整備

- ・令和4年度はなし

10 苦情処理受付状況

- ・苦情件数 0件 引き続き分かりやすい情報発信に努め、早めの対応を心掛ける。